

5月30日は、ごみゼロの日!

この機会に、循環型社会の形成について考えてみましょう。



4R

Refuse

(リフーズ)無駄なものは買わない

Reduce

(リデュース)ごみを減らそう

Reuse

(リユース)くり返し使おう

Recycle

(リサイクル)再び資源として活用しよう

不法投棄は絶対ダメ

ごみの不法投棄は、法律で禁じられています。絶対にやめましょう。



不法投棄



禁止!!



ポイ捨て禁止

宜野湾市のごみ

平成29年度の家庭から出るごみの量

年間 約**18,160**トン

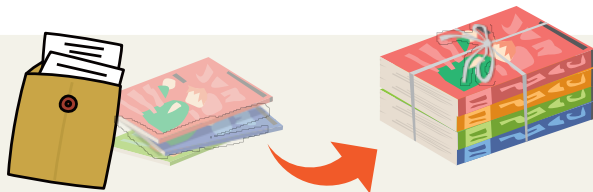
(1日1人あたり 約507g)

家庭から出る燃やすごみのうち、紙類は3割、生ごみは4割を占めていると言われており、燃やすごみのほとんどの量に当たります。この2種類のごみを、資源化・減量化することでごみの大幅な削減ができます。



「紙類」を分別しよう

小さな紙切れや使用済みの封筒などは…
「まとめて」⇒「はさんで」リサイクルしましょう!



☆週1回の紙類の日に出してください。



「生ごみ」は処分前にもう一絞り

- 宜野湾市では、生ごみのもう一絞りを推奨しています。
- 生ごみの約70%~80%が水分と言われています。
- 処分前にもう一絞りすることで減量を行うことができます。



水をしっかり絞る

目的

生ごみの削減・腐敗の防止、また水分を減らすことで処理にかかるエネルギーも減らすことができます。

ゴミの減量化

- 生ごみは、水分を多く含んでいます。あと一絞り水をきるように心がけてみましょう。
- 紙類・びん・かん・ペットボトル・草木などは資源ごみで出しましょう。資源として収集し、ごみの減量・リサイクルの推進を図ります。
- 生ごみ処理機(容器)の補助金制度を利用して生ごみを肥料に。